

地域人材ネット

地域の農水産物・自然資源を活用したスモールビジネス群の開発・運用

中澤 さかな （ なかさわ さかな ）

道の駅 萩しーまーと 駅長
ふるさと萩食品協同組合 専務理事



○ 登録者情報

所在地

山口県萩市

略歴

1957年 滋賀県生まれ

1980年 関西学院大学卒業(水産地理学専攻)

1980年 (株)リクルート入社(教育機関広報部・住宅情報事業部・生活情報誌事業部ほか)

2000年 勤続20年で(株)リクルートを早期選択定年退職、全国公募で萩市に移住、道の駅萩シーマーとの開業に携わりました。

本業の他に、萩市見島ダイビング事業・萩市出版事業「萩ものがたり」・萩博物館(営業部門)・遊覧船事業「萩八景遊覧船」・萩市見島ブルーツーリズム事業・萩市観光公式HPなどの立ち上げ運営にプロデュース担当として参画。平成21年度より、萩市産品の首都圏流通開発事業の責任者を兼務。

委員参加は「萩市観光協会」(2005年副会長)・「萩市基本計画審議委員会」(2006年会長)・「山口県都市農山漁村交流促進協議会」(2007～2010年会長)・「萩地区道の駅連絡協議会」(2006～2009年幹事)・「山口県観光審議会委員」(2010～)ほか。地域資源∞全国展開事業(2007年まふぐ・2008年あまだい)PJ作業部会長兼専門家委員 平成20年度農商工連携事業「萩の地魚もつたないPJ」プロデューサー 萩ブランド首都圏流通開発室アドバイザー他 平成22年度より、独立行政法人:水産大学校非常勤講師(水産物消費マーケティング論) 平成21年より、地域活性化伝道師に登録。平成22年、農水省「地域ブランド検討委員会」委員(産地代表)ほか

■受賞

●商工総合研究所(商工中金)中小企業組織活動懸賞レポート 2007年本賞(最優秀)●フード・アクション・ニッポン アワード2009 流通部門 優秀賞 2010 プロダクト部門入賞 ●地域活性化貢献組合表賞 2010 会長賞(中小企業団体中央会) ●地産地消活動優良表賞2010 農林水産大臣賞(農水省)

著書・論文等

●論文

「紀州雑賀崎漁民の生活誌」(1980年3月)

「地域活性化のsmallビジネスモデル」(2007年11月)

「萩の真ふぐブランディング」(2008年11月)

●著作

「萩沖の魚たち・春夏編」(2006年4月)

「萩沖の魚たち・秋冬編」(2007年9月)

「旅する民俗学者 宮本常一が見た萩」(2007年12月) ほか

●連載・レギュラー出演

NHK総合TV山口放送局・毎週「とくもり情報ランチ」(2003年11月～継続)

山口新聞隔週連載「漁家の台所」(2005年4月～継続)

萩ケーブルテレビ・毎週「旬感！お魚情報」(2004年4月～継続)

FM萩・毎週「萩魚情報」(2005年4月～継続) ほか

○ 地域の農水産物・自然資源を活用したスモールビジネス群の開発・運用

取組の内容

萩市は明治維新胎動の地としての歴史的リソースが豊かで、江戸時代の地図がそのまま使える城下町としても全国的に有名、年間約150万人の観光客を確保しています。一方、日本有数の好漁場を沖合いに持ち、山陰地区有数の水産都市であることや、美しい海と手付かずの自然が残る萩諸島群、そして肥沃な土壌・気候に恵まれた広大な農地や、そこで栽培される野菜果物の豊かさについては、ほとんど認識されておらず、観光資源としての開発もされていない状況でした。萩市の持つ歴史的資源による交流人口の確保はほぼアッパーまでできていると見られ、今後の観光交流人口の増強手段として、豊かな農水産資源およびスローツーリズムなど自然資源の開発にその余地があると判断しました。そこで、2000年の萩移住後、下記のような事業開発に取り組んできました。

- 道の駅萩シーマーと(萩漁港隣接の地産地消拠点)
- 萩沖見島ダイビング・ブルーツーリズム事業
- 萩博物館(営業部門:地産地消のミュージアムレストラン・ショップ)
- 萩八景遊覧船事業(萩を水辺から観る観光)
- 萩ものがたり出版事業(歴史・人物のみではなく、自然・民俗・産業・風物など幅広いテーマでシリーズ出版)
- 萩沖産有力魚種のブランディング事業・魚食普及活動
- 萩市観光公式WEB構築事業(歴史&味覚のまちとしての打ち出し) ほか



道の駅萩シーマーと



萩の真ふぐブランディング

実績

道の駅萩シーマーとは、2001年4月開業。事業費は約5億円(農水省補助事業)、運営主体は事業協同組合。年商規模は9.7億円、利用者数は年間150万人と、全国道の駅約900余駅中のトップクラス。業績推移も安定しており、2009年度も前年比で+2%程度の伸び率、もちろん経常黒字を確保しています。地産地消の実践拠点、地域活性化拠点として各方面から注目され、年間の行政視察グループ受け入れ数は50件以上。また、当施設の経営手法をビジネスモデルにまとめ、県内外へ移出。このモデルをベースにした施設が各地で開業、計画進行中の案件も複数あります。それ以外の開発案件についても、売上規模は小さいものの、確実に利益計上し、補助事業期間終了後も安定的に継続していける状態となっています。併せて平成20年度より、萩市水産物の首都圏販路確保に着手し、高質フードマーケットや有名料理店などにチャネルを開発しています。

工夫した点や苦労した点

特別なノウハウがある訳ではありません。現地のマーケットを徹底的に分析し、基本に忠実なマーケティング作業を地道にじっくり継続してきた成果です。地産地消のメリットや合理性(●鮮度が良い●素性がわかる●流通マージン無し●輸送コスト無し●食で季節を楽しむ)を最大化することに注力しました。加えて、TV番組へのレギュラー出演や連載記事執筆など年間100件を越えるパブリシティ誘発にも継続的に取り組み、高ボリュームの情報露出を確保してきました。



シーカヤック



ポートフィッシング

ひとことPR

萩市という現実のフィールドで、●道の駅など地産地消拠点の開設運営 ●地域一次産品のブランディング ●ブルーツーリズムの開発 ●地域物産の都市部販路拡大 ●地域出版事業 ●地域情報の発信事業 ●観光資源開発事業などなど、地域振興に関わるプランニング・運用実務を当事者として実践してきました。実践者でないと経験できない苦労や喜び、一応リアルに実感してきたつもりです。失敗経験も含め、実践を通じて学ぶことは非常に多く、やっぱり物事は「やってみないと分からない」が持論です。アドバイザーのスタンスとしては、やはり地域の皆さんが主体的に当事者意識を持って取り組んでいただくよう、あくまで「縁の下」に徹したいと考えています。

○ 参考

取組の分類

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

道の駅萩シーマート	http://www.axis.or.jp/~seamart/
萩市観光ポータル	http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/
萩沖 漁師修行日記	http://plaza.rakuten.co.jp/hagisakana/

連絡先

メールアドレス	sakana21[アットマーク]hotmail.co.jp	その他	
---------	-------------------------------	-----	--

※メールを送る際は[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る